

# 現代用語 の 基礎知識

NEW WORDS 14,800

## '65年増補版

# 自由国民

## 特別号

時代の鼓動を反射する  
新語外来語年鑑  
● 毎年春秋二回発行

- |      |      |      |      |      |          |       |      |      |        |      |       |          |       |       |      |      |          |
|------|------|------|------|------|----------|-------|------|------|--------|------|-------|----------|-------|-------|------|------|----------|
| 近藤康男 | 山口茂  | 鈴木武雄 | 山田秀雄 | 長洲一  | 高島善哉     | 高木惣吉  | 高木信成 | 鵜飼清  | 辻清明    | 中村哲  | 横田喜三郎 | ● 時局用語 ● | 62氏解説 | 最高筆者  | 各分野の |      |          |
| 山田肇  | 吉田秀和 | 今泉篤男 | 本多顕彰 | 江上波夫 | 辻村太郎     | 西岡虎之助 | 林健太郎 | 戸川行男 | 宮原誠一   | 大島清  | 高桑純夫  | ● 文化用語 ● | 宮川実   | 大河内一男 | 野田全治 | 山城章  | 上坂西三     |
| 津村秀夫 | 春日由三 | 安藤和雄 | 城戸又一 | 大宅壮一 | ● 日常用語 ● | 和達清夫  | 竹内端夫 | 萩原雄裕 | 宮木高明   | 杉靖三郎 | 高橋吉定  | 湯浅明      | 朝比奈貞一 | 藤岡由夫  | 茅誠司  | 辻二郎  | ● 科学用語 ● |
| 佐藤健彰 | 吉田健一 | 野村正七 | 福田蘭童 | 桑田忠親 | 高川義格     | 木村義雄  | 渡辺義雄 | 山野愛子 | マダムマサコ | 黒田初子 | 平井信義  | 氏家寿子     | 清家清   | 吉川義雄  | 服部良一 | 神田順治 | 織田幹雄     |

5 15日

自由国民社  
発行



# 国土防衛研究・図上作戦

—もし中ソが侵攻してきたら—

軍事評論家 久住忠男作成

	米ポラリス潜水艦		ソ連・中共の潜水艦
	米攻撃型潜水艦		ソ連ミサイル駆逐艦
	米攻撃空母		ソ連・中共の航空機
	米軍機		空挺隊の降下
	ポラリス・ミサイル		地上部隊の作戦線
	米地上軍の作戦線		共産側拠点



在極東ソビエト軍  
陸軍 約17個師団  
海軍 駆逐艦 約30隻  
潜水艦 約120隻  
空軍 重爆 50機  
中爆 200機  
その他 1500機

中共軍  
陸軍 約140個師団  
220万人  
海軍 駆逐艦 4隻  
潜水艦 約20隻  
空軍 第一戦機約1500機  
(旧式機多く稼働率小)

## 第1想定

米ソが北太平洋地域で軍事衝突を起した場合

- 1) ソ連は潜水艦の出撃路およびカムチャッカ方面と本土の連絡路を確保する必要上北海道を占領しようとする。
- 2) アメリカ軍は最初から戦闘に加わり海上から千島、樺太を攻撃する。
- 3) わが自衛隊は北海道に3線の防御障地をつくる。

極東方面アメリカ軍  
第7艦隊  
空母 5隻  
その他 120隻  
航空機 650機  
空軍 戦略飛行師団 1  
戦術飛行師団 4  
陸軍 (海兵隊を含む) 韓国 2個師団  
沖縄 約1個師団

## 第2想定

韓国が共産軍に侵略された場合

- 1) 日本にたいしてはまず政治攪乱工作がはじまる。
- 2) 各地に潜入したゲリラ部隊が治安を乱す。
- 3) 日本海沿岸各地に上陸ならびに空挺による正規部隊の侵入がはじまる。

## 第3想定

台湾が中共の手に落ち沖縄の米軍が撤退したと仮定した場合

- 1) 中共はわが国と東南アジア諸国との間の海空の交通路をいつでも遮断することができる。
- 2) 琉球列島にたいして「民族解放」政治工作がはじまる。
- 3) 沖縄にはまずゲリラ部隊が潜入し、ついで正規軍が侵入する。
- 4) 現状ではわが自衛隊はほとんど手のくぢしようがない。

〔備考〕  
現在はアメリカが台湾の防衛について協力を約しており、いまのままでは沖縄の部隊を撤退する意志のないことを表明している。



# 戦後二十年の重要事件年表

国内・国外10大ニュースはともに共同通信社提供・20年と21年の国内、20〜23年の国外は発表がなかった。

## 昭和二十年〔一九四五〕

- 8・15 天皇、終戦の詔勅を放送。鈴木内閣総辞職。
- 8・17 東久邇内閣成立。
- 8・30 マッカーサー元帥、厚木に到着。
- 9・2 ミズリー艦上で降伏文書の調印。GHQ設置。
- 9・25 世界労連結成。
- 10・9 幣原内閣成立。
- 10・11 GHQ、民主化五大方針（男女同権、労組結成奨励、教育自由主義化、専制政治からの解放、経済民主化）指令。
- 10・12 治安維持法廃止。
- 10・24 国際連合憲章発効。
- 11・2 GHQ、財閥解体指令。日本社会党結党（委員長・片山哲）。
- 11・9 日本自由党結党（総裁・鳩山一郎）。
- 11・16 日本進歩党結党（総裁・町田忠治）。
- ユネスコ憲章調印（46・1・4設立）。
- 11・20 ニューロンベルク裁判開

## 幕（46・10・1最終判決）。

- 12・1 日本共産党再建。
- 12・9 GHQ、農地改革指令。
- 12・15 GHQ、神道と国家の分離指令。
- 新選挙法（婦人参政）成立。
- 12・22 労働組合法公布（46・3・1施行）。
- 12・28 三国外相会議、極東委員会・対日理事会設置・朝鮮処理方策を発表。

## 昭和二十一年〔一九四六〕

- 1・1 天皇、神格の否定宣言。
- 1・4 GHQ、軍国主義指導者の公職追放、右翼団体解散指令。
- 1・10 国連、第一回総会開催。
- 2・1 第一次農地改革実施。
- 2・16 新円切りかえ（金融緊急措置令公布）。
- 2・19 ソ連、千島、樺太の領有を宣言。
- 2・26 極東委員会設置。
- 3・1 中央労働委員会発足。
- 3・3 物価統制令施行。
- 3・5 チャーチル、フルトンで

## 「鉄のカーテン」演説。

- 4・5 対日理事会（第一回）開催
- 4・10 戦後初の衆議院議員総選挙。自由一三九、進歩九三、社会九二、協同一四、共産五。
- 5・3 極東国際軍事裁判開廷。
- 5・19 食糧メーデー。
- 5・22 第一次吉田内閣成立。
- 6・23 米、ビキニで原爆実験。
- 7・29 パリ講和会議開始（10・15閉幕）。
- 9・30 三財閥（三井、三菱、安田）の本社の解散決定。
- 10・21 第二次農地改革法公布。
- 11・3 日本国憲法公布。
- 12・14 国連総会、軍縮憲章採択。
- 12・24 労働基準法成立（47・9・1施行）

## 昭和二十二年〔一九四七〕

- 1・31 GHQ、二・一ゼネスト中止指令。
- 3・12 トルーマン・ドクトリン発表。
- 3・23 アジア諸国民会議開催。
- 4・1 教育基本法、学校教育法（六・三制）実施。

## 4・5 第一回知事、市町村長選挙。

- 4・14 独占禁止法公布。
- 4・20 参議院議員選挙。自由三八、民主二八、社会四七、国協九、共産四、諸派一三、無所属一一。
- 4・25 衆議院議員総選挙。社会一四三、自由一三一、民主一一四、国協三一、共産四。
- 5・3 日本国憲法施行。
- 5・24 片山内閣成立。
- 6・5 マーシャル・プラン声明。
- 8・15 制限付民間貿易再開許可
- 10・5 コミンフォルム結成（56・4・17解散）。
- 10・27 改正民法公布。
- 10・30 ガット（一般関税協定）調印（48・1発効）。

## 二十二年国内10大ニュース

- ① 新憲法施行
- ② 二・一ストに中止命令出る
- ③ 片山社会党内閣生まる
- ④ 関東東北風水害（9・15）
- ⑤ 制限付き民間貿易再開
- ⑥ 新物価体系一、八〇円ベース
- ⑦ 石炭国家管理法国会通過（11・25）



- ⑧ 古橋広之進の水泳世界新記録樹立 (神宮プール)
- ⑨ 内務省解体(12・31)
- ⑩ 百万円宝くじ売り出し

昭和二十三年〔一九四八〕

- 1・26 帝銀事件発生。
- 1・30 ガンジー暗殺さる。
- 3・10 芦田内閣成立。
- 3・17 ブラッセル条約(西欧連合)調印。
- 4・2 ソ連、ベルリンの交通を遮断。
- 4・16 欧州経済協力協定(OEEC)調印。
- 4・19 米、マーシャル群島での原爆実験発表。
- 6・19 ソ連、ベルリン封鎖開始(49・5・12解除)。
- 6・28 コミンフォルム、ユーゴ共産党を除名。
- 7・31 公務員の争議権否定の政令公布。
- 8・15 大韓民国樹立。
- 9・9 朝鮮民主主義人民共和国樹立。
- 9・18 全学連結成大会。
- 9・30 昭和電工事件発生、芦田内閣辞職促進。
- 10・19 第二次吉田内閣成立。
- 11・2 米大統領選挙でトルーマンを再選。

- 11・12 極東国際軍事裁判最終判決(12・23 A級七名死刑執行)。
- 12・18 GHQ、経済安定九原則発表。

二十三年国内10大ニュース

- ① 東京裁判の判決
- ② 帝銀事件
- ③ 昭電事件
- ④ 官公労ストおよびマッカーサー書簡
- ⑤ 福井地震(6・28)
- ⑥ 古橋・橋爪水泳の世界記録樹立(神宮プール)
- ⑦ 米の配給一日二合七勺
- ⑧ 神戸事件
- ⑨ 礼文島日食観測(5・9)
- ⑩ アイオン台風

昭和二十四年〔一九四九〕

- 1・23 衆議院議員総選挙(第二回) 民自二六四、民主六九、社会四八、共産三五。
- 1・26 法隆寺金堂焼失。
- 2・16 第三次吉田内閣成立。
- 4・1 家庭裁判所発足。
- 4・4 団体等規正令公布施行。
- 4・4 北大西洋条約調印(50・12条約機構設置)。
- 4・15 ドッジ公使、均衡予算案施強調(ドッジ・ライン)。
- 4・23 GHQ、一ドル三六〇円の単一為替レート設定指令(4・25実施)。

- 5・12 GHQ、証券取引所再開許可。
- 6・10 神奈川人民電車事件発生 国電スト拡大。
- 6・21 ソ連からの引き揚げ第一船舞鶴入港。
- 6・30 平事件発生(労働者、警察署占拠)。
- 7・6 下山事件。
- 7・15 三鷹事件(50・8・11 東京地裁判決)。
- 8・17 松川列車転覆事件(50・12・6 福島地裁判決)。
- 8・26 シャウブ使節団、税制勸告案発表。
- 9・24 ソ連、原爆所有を公表。
- 10・1 中華人民共和国成立宣言(主席・毛沢東)。
- 10・28 GHQ、民間貿易実施許可(12・1再開)。
- 11・3 湯川博士、ノーベル賞受賞。
- 11・28 国際自由労連結成。

二十四年国内10大ニュース

- ① 湯川秀樹博士にノーベル賞
- ② ドッジ予算の成立とインフレ終息
- ③ 三鷹の無人電車暴走事件
- ④ 古橋・橋爪ロスで世界新記録(8・16)
- ⑤ 法隆寺金堂の壁面焼く(1・26)
- ⑥ 下山国鉄総裁ナソの死
- ⑦ シベリア引き揚げ者騒ぐ(6・27)
- ⑧ 総選挙に民自党大勝
- ⑨ シャウブ博士の税制勸告

シールス軍来日(10月)

一九四九年国外10大ニュース

- ① ソビエト原爆発表
- ② 中共人民政府成立
- ③ 北大西洋条約調印
- ④ 対日講和気運動く
- ⑤ ボンドの切り下げ(9・18)
- ⑥ 東西ドイツ共和国成立
- ⑦ 米対華白書発表(8・5)
- ⑧ ユーゴ・ソビエト抗争
- ⑨ ベルリン封鎖解除
- ⑩ インドネシア共和国成立(12・27)

昭和二十五年〔一九五〇〕

- 1・6 コミンフォルム、革命路線で日本共産党を批判。
- 1・31 トルーマン米大統領、水爆製造指令。
- 2・14 中ソ友好同盟条約調印。
- 3・25 ストックホルム・アビー(原爆禁止)発表。
- 3・31 米、対外援助法成立。
- 5・6 インド、ネール新内閣成立(1月、英連邦内で独立)。
- 6・4 参議院議員選挙(第二回) 自民党(自由、国民民主党)六一、社会労農三八、緑風九、諸派三、共産二、無所属一九。
- 6・6 GHQ、日本共産党中央委員の追放指令(徳田球一ら二四人)。
- 6・25 朝鮮戦争発生。
- 6・27 米大統領、米軍に朝鮮出



動を命令。

- 7.8 在日米軍朝鮮へ出動。G
- HQ、警察予備隊設置指令。
- 7.10 ソ連、水爆製造開始。
- 7.11 総評結成。
- 7.18 GHQ、アカハタ無期限発行停止指令。
- 9.1 政府、公共企業体・地方自治体・教職員の赤追放決定。
- 9.19 欧州経済同盟発足。
- 10.25 中国人民義勇軍、朝鮮戦線に出動。

二十五年国内10大ニュース

- ① 警察予備隊設置
  - ② 日共幹部の追放と地下活動
  - ③ 公職追放解除(10・13)
  - ④ 金閣寺全焼(7・2)
  - ⑤ ジェーン台風(9・3)
  - ⑥ 参議院選挙
  - ⑦ 地方税改正と住民税創設
  - ⑧ 電力再編成
  - ⑨ 三鷹事件結審(8・11)
  - ⑩ 日米水上対抗競技
- 一九五〇年国外10大ニュース
- ① 北鮮軍の韓国侵入と国連軍の武力発動(6・25)
  - ② 米の非常事態宣言(12・16)
  - ③ 中共の朝鮮介入
  - ④ 西欧統一軍設置決定(12・18)
  - ⑤ 中ソ友好同盟条約の締結
  - ⑥ トルーマン・アトリー米英会議(12・4~8)
  - ⑦ 対日講和予備交渉(9・14)
  - ⑧ 水爆製造推進声明
  - ⑨ インドシナの形勢重大化

⑩ ショー翁の死(1・2)

昭和二十六年〔一九五二〕

- 1.1 マッカーサー元帥、日本再軍備強調(年頭の辞)。
- 2.12 コロンボ計画会議開催。
- 3.15 イラン、石油国有化可決(6.20 英石油会社接収宣言、5.1 接収開始)。
- 4.2 欧州統一軍発足。
- 4.11 マッカーサー総司令官解任。4.16 離日。
- 4.19 シューマン計画正式調印(52・8・10 発足)。
- 6.20 第一次追放解除(六万八九六〇人)。
- 7.10 朝鮮休戦交渉開始(53・7・27 調印)。
- 9.1 アンザス条約(太平洋安全保障条約)調印。
- 9.6 日共幹部公職追放(19名)
- 9.8 サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約調印。
- 10.5 社会党、講和条約承認、安保条約反対決定。
- 10.17 エジプト、英両軍スエズで衝突。
- 10.24 社会党、講和・安保条約をめぐり分裂。

二十六年国内10大ニュース

① 講和条約批准

③ マッカーサー元帥離任

- ③ 桜木町事件(4・24)
- ④ 追放解除の終了
- ⑤ 社会党の分裂
- ⑥ 米の統制撤廃流産
- ⑦ ルース台風(10・14)
- ⑧ 異常洪水と電力危機
- ⑨ 貞明皇后崩御(5・17)
- ⑩ 国内航空復活(10・25)

一九五一年国外10大ニュース

- ① サンフランシスコ講和会議
- ② 朝鮮休戦会議
- ③ マッカーサー元帥解任
- ④ 英国総選挙に保守党勝つ(10・25)
- ⑤ 太平洋安全保障機構成る
- ⑥ 中東の反英紛争(イランとエジプト)
- ⑦ 西欧・ソ連の軍縮提案
- ⑧ 原子兵器競争の激化
- ⑨ 対中共禁輸決定(5・8)
- ⑩ インド講和会議に参加せず

昭和二十七年〔一九五三〕

- 1.19 韓国、李承晩ライン宣言。
- 2.1 警察予備隊を防衛隊に改組と発表。
- 2.24 アメリカ、西欧一〇カ国と共産圏輸出禁止協定調印。
- 2.26 英、原爆保有発表。
- 2.28 日米行政協定調印。
- 4.28 講和条約・日米安保条約発効。
- 5.1 独立後初のメーデー、皇居前広場で血の大乱闘。
- 5.27 欧州防衛共同体条約調印(54・8 流産)。

6.25 新宿駅前事件(火災ビン事件)。吹田事件。

- 7.4 破防法成立(7.21 施行)。
- 7.23 エジプトでクーデター。
- 10.1 衆議院議員総選挙(第三回)。自由二四〇、改進黨八五、右社五七、左社五四、労働四。
- 10.15 保安庁、保安隊発足。
- 10.16 ウィーン・アピール発表。
- 10.30 第四次吉田内閣成立。
- 11.14 対共産圏輸出統制委員会に日本加入決定。
- 11.16 米原子力委員会、水爆実験成功発表。
- 12.21 国連総会、日本加盟決議案可決(賛成五〇、反対五)。

二十七年国内10大ニュース

- ① 平和・安保両条約発効
  - ② 総選挙と第四次吉田内閣成立
  - ③ メーデー事件
  - ④ 立太子礼(11・10)
  - ⑤ 炭労(10月・12月)・電産(9月)争議
  - ⑥ 保安庁発足
  - ⑦ スターリン首相の日本国民への年頭メッセージ
  - ⑧ 世界選手権三つ獲得(拳闘||白井・レスリング||石井・卓球||佐藤)
  - ⑨ 英水兵事件(7・12 判決)
  - ⑩ 日航機木星号事件(4・9)
- 一九五二年国外10大ニュース
- ① アイタ米大統領選挙に当選(11・4)
  - ② 朝鮮休戦会議の行き詰り
  - ③ 中ソ両巨頭会談(8・17)
  - ④ 米国の水爆実験成功(11・1)



- ⑤ 対独平和条約と欧州軍条約調印
- ⑥ 第一九回ソ連共産党大会(10・5)
- ⑦ 第一五回オリンピック大会(フィンランド)大会開く(7・19)
- ⑧ 中近東アフリカの民族運動激化
- ⑨ 英国女王即位
- ⑩ モスクワ経済会議(4・3~12)

### 昭和二十八年〔二九三〕

- 1・20 アイゼンハワー米大統領就任。
- 1・27 ダレス米國務長官、対ソ巻き返し政策声明。
- 2・1 NHKテレビの放送開始
- 3・5 スターリン・ソ連首相死去(後任首相マレンコフ)。
- 3・18 鳩山一郎ら自由党結成。
- 3・23 中国より第一次引き揚げ船舞鶴入港。
- 4・19 衆議院議員総選挙(第四回)。自由一九九、鳩山自由三五、改進黨七六、左社七二、右社六六、ガ農五。
- 4・24 参議院議員選挙(第三回)。自民(民主、自由党)五四、社会二八、緑風一六、諸派一、無所属二九。
- 5・21 第五次吉田内閣成立。
- 5・29 英登山隊、エベレスト登頂成功。
- 7・27 朝鮮休戦協定調印。
- 8・1 軍人恩給復活。
- 8・5 スト規制法案成立。

- 8・8 ソ連、水爆保有声明(8・20水爆実験成功発表)。
- 8・16 イランにクーデター発生
- 9・7 韓国軍艦、李ライン立ち入り禁止通告。
- 10・25 奄美大島日本復帰。

### 二十八年国内10大ニュース

- ① 風水被害と凶作
- ② 解散と衆参両院選挙
- ③ 防衛問題急進展
- ④ 皇太子外遊
- ⑤ 各地から続々引き揚げ
- ⑥ 李ライン問題と日韓会谈決裂
- ⑦ 深刻化する基地問題(内灘村)奄美大島の返還
- ⑧ テレビ放送はじまる
- ⑨ 山田ボストンマラソンに優勝(4・22)

### 一九五三年国外10大ニュース

- ① スターリン死去とマレンコフの首相就任
- ② ソ連水爆保有を声明
- ③ 朝鮮休戦
- ④ 英登山隊のエベレスト征服
- ⑤ 英女王戴冠(6・2)
- ⑥ ソ連でベリヤ追放(7・10)
- ⑦ 東独ベルリンに暴動(6・16)
- ⑧ 米英仏パームニミューダ会谈(12・4)
- ⑨ 西独選挙に与党勝つ(9・6)
- ⑩ イランにクーデター

### 昭和二十九年〔二九四〕

- 1・12 アメリカ國務長官「大量

- 報復政策」を発表。
- 2・26 造船疑獄発生、吉田内閣ゆれる。
- 3・1 第五福竜丸、ビキニ水爆実験で被災(9・23 久保山愛吉放射能症で死去)。
- 3・8 日米MSA協定調印(5・1発効)。
- 3・26 教育二法案可決(5・29成立)。
- 4・20 造船疑獄で佐藤自由党幹事長逮捕決定(4・21犬養法相、指揮権発動)。
- 4・28 コロンボグループ成立。
- 6・7 参議院、議長職権で警察法案強行可決。
- 6・15 近江網糸ストで乱闘。
- 6・28 周・ネルル会谈、平和五原則の共同声明。
- 7・1 防衛庁、自衛隊発足。
- 7・21 インドシナ休戦協定調印(ジュネーブ)。
- 9・8 東南アジア集団防衛条約調印(55・2発効)。
- 9・26 青函連絡船洞爺丸転覆。
- 12・4 国連総会、原子力平和利用決議採択。
- 12・10 第一次鳩山内閣成立。

### 二十九年国内10大ニュース

- ① 洞爺丸沈没
- ② 第五福竜丸の被爆事件
- ③ 吉田内閣総辞職、鳩山内閣成立

### 昭和三十年〔二九五〕

- 2・9 マレンコフ・ソ連首相辞任(後任ブルガーニン元帥)。
- 2・27 衆議院議員総選挙(第五回)。民主一八五、自由一一二、左社八九、右社六七、労働四、共産二。
- 3・19 第二次鳩山内閣成立。
- 4・18 A A会議開催(24日まで)平和十原則発表。
- 5・6 西ドイツ、正式にNATO加盟。
- 5・11 国鉄の宇野・高松連絡船紫雲丸沈没。
- 5・14 東欧相互援助条約(ワル

- ④ 李徳全女史来日と各界代表訪中
- ⑤ 国会会期延長で大乱闘(6・3)
- ⑥ 緊縮政策で不況深刻化
- ⑦ MSA発効と自衛隊発足
- ⑧ 二重橋事件(1・2)
- ⑨ 近江網糸の人権闘争
- ⑩ 世界卓球選手権に日本優勝(4月)

### 一九五四年国外10大ニュース

- ① インドシナ休戦成立
- ② 国連の原子力の平和利用決議
- ③ 中印の平和五原則声明
- ④ 西独再軍備に着手
- ⑤ 中ソ共同宣言(10・12)
- ⑥ 中共憲法制定(9・20)
- ⑦ SEATO会議(9・6~8)
- ⑧ 米中間選挙で民主党勝つ(11・2)
- ⑨ マイル・レリス四分を切る(5)
- ⑩ モスクワ会議(11・29)



シヤワ条約) 調印 (6・5 発効)。

- 6・1 日ソ交渉開始(ロンドン)。
- 7・18 ジュネーブ四カ国首脳会談(23日まで)、アイゼンハワー米大統領空中巡察を提案。
- 10・13 日本社会党結成(兩派統一、委員長・鈴木茂三郎)。
- 11・15 自由民主党結成(民主・自由合同) 総裁決定まで四人の代行委員制。
- 11・22 第三次鳩山内閣成立。
- 11・26 ソ連、実用水爆完成発表

三十年国内10大ニュース

- ① 保守、革新二大政党時代へ
- ② 空前の大豊作
- ③ 日ソ交渉
- ④ 紫雲丸沈没
- ⑤ 日米原子力協定
- ⑥ 基地反対闘争の激化(砂川)
- ⑦ 日共三幹部出現と徳田球一死亡
- ⑧ 森永粉ミルク中毒事件
- ⑨ 日中交流活発化
- ⑩ 浜村ポストンマラソンに優勝(4・19)

一九五五年国外10大ニュース

- ① ソ連のマレンコフ解任とブルガーニンの登場
- ② 四大国巨頭会談
- ③ AA会議開催
- ④ パリ協定とワルシャワ条約の成立
- ⑤ 台湾問題の重大化
- ⑥ チャーチル引退とイーデン内閣誕生

(4・5)

- ⑦ オーストリア主権回復(5・15)
- ⑧ ソ連首脳のエーゴロフ訪問(5・26)
- ⑨ カンチエンジュンガ征服(5・25)
- ⑩ アインシュタイン博士死去(4・18)

昭和三十一年(一九五六)

- 1・16 ダレス米國務長官「瀬戸際政策」をライフ誌に発表。
- 2・14 フルンチェフ・ソ連第一書記のスターリン批判。
- 4・17 ソ連、コミンフォルム解散発表。
- 5・16 憲法調査会法成立。
- 6・1 参議院、新教育委員会法強行で混乱。
- 6・28 ポーランドに暴動発生。
- 7・8 参議院議員選挙(第四回)、自民六一、社会四九、共産二一、緑風五、諸派一、無所属九。
- 7・26 エジプト、スエズ運河国有化宣言。
- 10・13 砂川強制測量で、流血。
- 10・19 日ソ復交共同宣言・通商航海条約議定書調印。
- 10・23 ハンガリーに動乱発生。
- 10・29 イスラエル軍、エジプト侵入。
- 11・31 英仏軍、エジプト攻撃。
- 11・1 ソ連軍、ハンガリーに入る(4日ブダペスト占領)。エジプト、英仏と断交。
- 11・6 アイタ米大統領再選。

11・12 オリソピック第16回大会

- ひらく(メルボルン)。英仏軍エジプト撤退。
- 12・18 国連総会、日本加盟承認。
- 12・23 石橋内閣成立。

三十一年国内10大ニュース

- ① 鳩山首相訪ソと日ソ国交回復
- ② 日本の国連加盟
- ③ 鳩山引退と石橋新総裁決まる
- ④ 戦後最高の人気を呼んだ証券取引所南極観測壮途へ
- ⑤ 参議院選挙と社会党の進出
- ⑥ 砂川強制測量で流血
- ⑦ マナスル登頂(5・9)
- ⑧ 新潟縣弥彦神社の圧死事件(1・1)
- ⑨ オリソピックで金メダル四つ
- ⑩ 一九五六年国外10大ニュース

一九五六年国外10大ニュース

- ① スエズ運河国有化と中東動乱
- ② ハンガリー暴動にソ連武力介入
- ③ ソ連のスターリン批判
- ④ アイタ米大統領再選
- ⑤ 国連、中東、ハンガリー問題で重大試験に直面
- ⑥ 国際原子力機関の創設
- ⑦ 中共八大会と国際地位向上
- ⑧ 米・極点観測基地設定に成功
- ⑨ 西独徴兵法可決さる
- ⑩ コールダーホール発電所発足

昭和三十三年(一九五七)

- 1・5 アイタ・ドクトリン米議事に提出。
- 1・9 イーデン英首相辞任(後任マクミラン)。
- 1・29 南極予備観測隊、オング

ル島上陸「昭和基地」と命名。

- 2・25 第一次岸内閣成立。
- 3・25 欧州共同市場、欧州原子力共同体、両条約調印。
- 5・15 英、クリスマス島付近で水爆実験。
- 7・3 ソ連共産党、モロトフ、マレンコフ、カガノビイチら解任。
- 7・10 岸内閣改造。
- 7・29 国際原子力機関発足。
- 8・6 日米安全保障委員会発足
- 8・26 ソ連、ICBM成功報道。
- 8・27 東海村に原子の火ともる
- 10・4 ソ連、世界最初の人工衛星打ち上げ成功。

三十二年国内10大ニュース

- ① 第一号原子炉完成、原子の火ともる
- ② 石橋から岸へ政権譲渡(2・23)
- ③ 岸首相の米国、東南アジア訪問
- ④ 政府の経済政策大転換(神武景気からナベ底へ)
- ⑤ 国際紛争になったジラード事件(1・30、判決は11・19)
- ⑥ 日本 安保理・非常任理事国に当選
- ⑦ 諫早・大村の大水害(7・25)
- ⑧ 南極昭和基地の建設
- ⑨ 日米共同声明と在日米地上軍撤退(6・21)
- ⑩ 総評の春季闘争

一九五七年国外10大ニュース

- ① ソ連の人工衛星打ち上げとICBMの成功
- ② モロトフ、ジュエロフらの追放



- ⑤ ヨルダン・シリアをめぐる中東の緊迫
- ④ 軍縮交渉の失敗
- ③ 共産圏首脳会議とモスクワ宣言
- ② 英クリスマス島の水爆実験
- ① パリNATO首脳会議
- ⑩ 欧州の通貨不安
- ⑨ 米で黒白共学紛糾
- ⑧ 米の人工衛星、打ち上げ失敗

**昭和三十三年〔一九五八〕**

- 1. 31 米、最初の人工衛星打ち上げ成功。
- 3. 27 ソ連首相にフルシチョフ就任。
- 5. 2 長崎国旗事件で日中貿易停止。
- 5. 12 レバノン全土に暴動。
- 5. 22 衆議院議員総選挙(第六回)。自民二八七、社会一六六、共産一、諸派一、無所属一二。
- 6. 1 ドゴール内閣成立。
- 6. 13 第二次岸内閣成立。
- 7. 14 イラクに軍部のクーデター、王制廃止。
- 7. 15 米海兵隊、レバノン上陸(10. 24撤退)。
- 7. 17 英、ヨルダン国王の要請で派兵。
- 8. 22 米大統領、10月31日より一年間の核実験停止予告。
- 9. 19 FLN、アルジェリア共和国臨時政府樹立。

- 10. 4 日米安保条約改訂交渉開始(東京)。
- 11. 4 自民、抜き打ち会期延長、変則国会となる。
- 11. 22 警職法改正案、審議未了と決定。

三十三年国内10大ニュース

- ① 皇太子妃決定(11. 27)
- ② 国会内外の警職法反対闘争
- ③ 総選挙と第二次岸内閣成立
- ④ 中国の対日政策硬化
- ⑤ 狩野川台風による伊豆の水災(9. 26)
- ⑥ 勤労反対闘争
- ⑦ 第三回アジア競技大会開催(5. 24)
- ⑧ 売春防止法発効
- ⑨ 王子製紙争議(7. 18~12. 9)
- ⑩ 全日空機伊豆沖で墜落(8. 12)

一九五八年国外10大ニュース

- ① イラク革命と中東動乱
- ② フルシチョフの主導権確立と七年計画への前進
- ③ 米ソの人工衛星とミサイルの競争
- ④ 金門島砲撃と台湾海峡の危機
- ⑤ 仏ドゴール出馬と第五共和制の発足
- ⑥ ソ連の西ベルリン自由化の提案
- ⑦ 核実験停止をめぐる米ソの応酬
- ⑧ 原子力潜水艦の北極圏航路断
- ⑨ 米中間選挙で民主党勝つ
- ⑩ 英蘭フックス隊南極横断に成功

**昭和三十四年〔一九五九〕**

- 1. 2 ソ連、初の宇宙ロケット打ち上げ、人工衛星となる。
- 1. 3 キューバに革命起こる。

- 1. 8 フランス大統領にドゴール就任。
- 2. 5 ソ連、七カ年計画決定。
- 3. 12 チベットに暴動。
- 3. 30 東京地裁、米軍駐留は違憲、砂川事件全員無罪の判決(4. 3検察当局、跳躍上告、12. 16最高裁、原判決破棄、地裁差し戻しの判決)。
- 4. 15 ダレス米國務長官辞任(4. 18後任にハーター判定)。
- 6. 2 参議院議員選挙(第五回)。自民七一、社会三八、緑風六、共産一、諸派一、無所属一〇。
- 8. 20 バグダッド条約、中央条約機構に改組。
- 8. 28 中共、インド国境紛争。
- 9. 14 ソ連第2号宇宙ロケット月面に到着。
- 9. 15 フルシチョフ、ソ連首相、訪米。
- 9. 18 フルシチョフ、ソ連首相、国連総会で「四年以内の完全軍備撤廃」提案。
- 10. 4 ソ連、宇宙ステーション打ち上げ(10. 8月面裏側写真撮影に成功)。
- 10. 18 社会党西尾派離党(35. 1. 24民主社会党結成)。
- 11. 27 安保改正反対で全学連デモ隊、国会突入。

- 12. 11 三井三池鉱業所、指名解雇を通告。

三十四年国内10大ニュース

- ① 伊勢湾台風(9. 26)
- ② 安保改定で保守・革新の対決
- ③ 皇太子御結婚(4. 10)
- ④ 砂川事件伊達判決
- ⑤ 社会党の分裂
- ⑥ 国会請願デモ事件
- ⑦ 松川事件判決(8. 10)
- ⑧ エネルギー革命と石炭労使の紛争
- ⑨ 東京オリンピック大会決定(5. 26)
- ⑩ 北朝鮮帰還

一九五九年国外10大ニュース

- ① ソ連月ロケット・月面に到達と月の裏側撮影に成功
- ② フルシチョフ、ソ連首相の訪米と軍備撤廃提案
- ③ ダレス米國務長官の死去とアイクの東西協調外交の推進
- ④ 東西首脳会談開催決まる
- ⑤ チベット反乱と中印国境紛争
- ⑥ 南極条約調印
- ⑦ 欧州共同市場の発足と自由貿易連合体条約の仮調印
- ⑧ 英保守党大勝
- ⑨ キューバ革命と中南米の反米機運
- ⑩ 米鉄鋼ストとタフト・ハートレー法の発効

**昭和三十五年〔一九六〇〕**

- 1. 15 新安保条約調印の全権団渡米に全学連、羽田空港ですわりこむ。
- 1. 19 日米新安保条約調印。



- 3・15 東西十カ国軍縮委員会、ジュネーブで開幕。
- 4・11 韓国馬山で反政府デモ。
- 4・27 李承晩韓国大統領辞任。
- 5・5 ソ連、米U2型機の撃墜を発表。
- 5・15 ソ連、人工衛星船第1号を打ち上げ。
- 5・17 パリ東西首脳会談、失敗に終わる。
- 5・19 新安保条約を自民党単独採決、国会内外混乱。
- 5・27 トルコで無血クーデター
- 6・10 ハガチー事件起こる。
- 6・15 全学連、国会構内へ乱入、東大生樺美智子圧死。
- 6・16 アイゼンハワー米大統領の訪日延期さまる。
- 6・19 日米新安保条約自然承認
- 6・23 日米新安保条約発効。
- 6・27 十カ国軍縮委員会決裂。
- 7・9 コンゴに暴動起こる。
- 7・11 ソ連、米RB47型機の撃墜を発表。
- 7・14 自民党総裁に池田勇人当選、岸首相刺さる。
- 7・19 池田内閣成立。
- 7・20 米潜水艦、ボラリス・ミサイルの水中発射に成功。
- 8・25 ローマ・オリンピック大会開幕(9・11まで)。
- 10・12 浅沼社会党委員長、右翼

- 少年山口二矢に刺殺さる。
- 11・1 三池スト、二百八十二日ぶりで解決。
- 11・8 J・F・ケネディ、米大統領選挙に当選。
- 11・16 米、ドル防衛策発表。
- 11・20 衆議院議員選挙(第七回)自民二九六、社会一四五、民社一七、共産三、諸派一、無所属五。
- 12・8 第二次池田内閣発足。最高裁判所、平事件に騒乱罪の判決。

三十五年国内10大ニュース

- ① 安保闘争とアイク訪日中止
- ② 新安保条約の調印と自然成立
- ③ 浅沼委員長刺殺事件
- ④ 三井三池争議
- ⑤ 池田内閣誕生と9%成長政策
- ⑥ 総選挙と民社党の惨敗
- ⑦ 浩宮さまご誕生
- ⑧ ナリ地震津波
- ⑨ 雅樹ちゃん殺し
- ⑩ プロ野球日本選手権に大洋優勝

一九六〇年度海外10大ニュース

- ① パリ首脳会談決裂
- ② ケネディ、米大統領選挙に当選
- ③ ソ連人工衛星船と生物回収
- ④ 新生アフリカとコンゴ動乱
- ⑤ 李承晩政権崩壊
- ⑥ 米ドルの信頼低下
- ⑦ 国連首脳総会
- ⑧ 米・キューバ紛争と中南米の動揺
- ⑨ 史上最大のローマ・オリンピック

中ソのイデオロギー論争

昭和三十六年〔二六二〕

- 1・3 米、キューバと断交声明。
- 1・20 ケネディ米三十五代大統領就任。
- 2・1 嶋中事件起こる。
- 2・13 ルムンバ・コンゴ首相らの殺害発表さる。
- 4・11 アイヒマン裁判始まる。(12・15 死刑の判決 37・5・31 刑執行)
- 4・12 ソ連、人間衛星船ポスト1ク1号の打ち上げに成功。
- 4・15 キューバに反政府軍上陸(4・20 掃滅)。
- 4・22 アルジェリアのフランス軍反乱(4・27 鎮圧)。
- 5・16 ジュネーブでラオス十四カ国会談開会。
- 6・3 米ソ首脳、ウイーンで会談(4日まで)。
- 6・8 政治暴力防止法案、継続審議決定。
- 6・20 ワシントンで日米首脳会談始まる(21日まで)。
- 7・18 池田改造内閣成る。
- 7・19 フランスとチュニジア、ビゼルト軍港をめぐり紛争。

- 8・2 コンゴ統一政府成る(首相にアドゥラ就任)。
- 8・8 松川事件、被告全員に無罪の判決(8・21 検察側、最高裁へ上告)。
- 8・13 東独政府、国民の西ベルリン立ち入りを禁止。
- 8・30 ソ連、核実験再開を決定。
- 9・5 米国、ソ連に対応し核実験再開を声明。
- 9・18 ハマーシールド国連事務総長、北ローデシアで飛行機事故のため死去。
- 10・30 ソ連、50メガトン核爆弾を実験、米英政府が非難。
- 11・2 日米貿易経済合同委員会箱根で開催(4日まで)。
- 11・16 池田首相、バキスタン・インド・ビルマ・タイ訪問に出發(30日まで)。
- 12・11 ソ連、アルバニアと断交。
- 12・12 池田首相ら要人暗殺計画(三無事件)の13人、逮捕。
- 12・15 国連総会、中国代表権問題を重要事項に指定。
- 12・18 インド国防軍、ゴア進撃を開始(12・19 占領)。

三十六年国内10大ニュース

- ① 池田首相の米国、東南アジア訪問
- ② 松川事件の無罪判決
- ③ 国際収支の悪化と株価暴落
- ④ 集中豪雨と第二室戸台風(9・15)



- ⑤ 実力者内閣誕生(7・18)
- ⑥ 小児マヒに生ワクチン成功
- ⑦ 嶋中事件
- ⑧ 日米箱根会談
- ⑨ 釜ヶ崎事件
- ⑩ 日本柔道やぶれる(12・2)

一九六一年国外10大ニュース

- ① 人類初の宇宙飛行(4・12)
- ② 核実験再開(8・30)
- ③ ミソウイーン会議
- ④ 東西ベルリンの境界封鎖
- ⑤ 韓国の軍事革命
- ⑥ ソ連共産党大会とその波紋(10・17)
- ⑦ ハマーシヨールド国連事務総長の事故死
- ⑧ キューバ反攻の失敗
- ⑨ ルムンバ・コンゴ首相虐殺
- ⑩ ラオス停戦(5・3)

昭和三十七年(一九六二)

- 2・20 米国、人間衛星船1号に成功。
- 3・14 十八カ国軍縮委員会開会
- 3・18 フランス・アルジェリア停戦協定調印。
- 5・3 常磐線三河島駅で二重衝突、死者一五六人。
- 6・12 ラオス連合政府樹立協定成る。首相はプーマ。
- 7・1 参議院議員選挙(第六回)
- 自民六九、社会三七、民社四、共産三、同志会二、無所属一
- 7・3 アルジェリア独立。
- 7・18 池田内閣改造。

- 7・22 ソ連、核実験再開を発表。
- 8・11 ソ連、ボストーク3号、4号でアベック飛行成功。
- 8・15 西イリアン協定調印。
- 8・24 第四回アジア競技大会、インドネシアのジャカルタで開幕(9・4まで)。
- 9・27 イエメンでクーデター。
- 10・1 米国ミシシッピ州立大で黒人入学拒否から暴動。
- 10・22 ケネディ米大統領、キューバへの武器禁輸のため海上封鎖を宣言。
- 10・28 フルシチョフソ連首相、キューバからの攻撃的武器の撤収を言明。
- 11・4 池田首相訪欧(25日帰国)
- 11・20 米海軍、キューバ海上封鎖を解除。
- 12・22 米英、ナットソー協定締結
- 12・27 日中民間貿易協定書、北京で調印。

三十七年国内10大ニュース

- ① 三河島事件、死者一六九名
- ② 池田訪欧と日英通商条約調印
- ③ 不況浸透と経済政策転換
- ④ 貿易自由化八十八%実施(10・1)
- ⑤ 大揺れのオリビック体制
- ⑥ 全国にニセ札横行
- ⑦ 参議院議員選挙と内閣改造
- ⑧ 堀江青年の太平洋横断成功(8・12)

一九六二年国外10大ニュース

- ① 皇太子夫妻のアジア訪問
- ② 日訪貝塚の女子バレー世界制覇
- ③ キューバ問題・世界に衝撃
- ④ 米ソの人間衛星打ち上げ
- ⑤ 米ソの核実験再開
- ⑥ ラオスの連合政府樹立
- ⑦ アルジェリアの独立(3・18)
- ⑧ 中印軍国境で衝突(10・21)
- ⑨ 十八カ国軍縮委員会開く
- ⑩ 米中間選挙で民主党勝つ

昭和三十八年(一九六三)

- 1・22 仏独協力条約成立。
- 1・29 政府、米原子力潜水艦の寄港を了承。
- 2・7 IMF、日本の八条国移行を勧告。
- 2・28 「がんくつ王」吉田翁に無罪判決下る。
- 4・10 スレッシャー号事件。
- 4・17 統一地方選挙始まる。新知事の内訳、自民七、社会一、無所属一二。
- 6・14 ソ連ボストーク5号飛ぶ
- 6・16 ボストーク6号飛ぶ。
- 6・20 米ソ直通通信線協定調印
- 7・5 中ソ会談開く。
- 7・18 池田改造内閣成る。
- ケネディ教書で日本の株価が

- 7・25 ユーゴで大地震。
- 7・26 日本、OECD加盟決る。
- 米英ソ三国、部分的核実験停止条約なる(8・5調印)。
- 8・5 原水爆禁止大会で分裂騒ぎ起こる。
- 8・17 藤田航空機遭難16人死亡
- 8・30 世界連邦東京総会開く。
- 9・12 松川事件、全員無罪判決。
- 9・16 マレーシア誕生。
- 9・23 池田首相、西太平洋四カ国の訪問に出発(10・6帰国)
- 10・7 中共の周鴻慶、亡命を申し出(39・1・9 離日)。
- 10・11 東京国際スポーツ大会開く(16日まで)。
- 10・26 わが国初の原子力発電に成功。
- 11・1 南ベトナムでクーデター
- 11・9 国鉄鶴見事故(死者一六一名)、三池三川鉱炭塵爆発(死者四五八名)。
- 11・20 国連「人権差別撤廃宣言」を全会一致で採択。
- 11・21 衆議院議員選挙(第三〇回)。自民二八三、社会一四四、民社二三、共産五、無所属一二。
- 11・22 ケネディ米大統領暗殺さる。日米テレビ中継成功。
- 12・7 原爆訴訟、請求棄却。原



爆は国際法違反の判決。

12.17 韓国の民政復活。

12.26 米、対ソ小麦の輸出承認。

12.30 ドゴール仏大統領、水爆保有を主張。

三十八年国内10大ニュース

① 国鉄鶴見、三井三川鉱の二大惨事

② 村越吉辰ちゃん誘拐事件

③ 松川事件の全被告無罪確定

④ 総選挙と第三次池田内閣発足

⑤ 物価値上がりと株価の低迷

⑥ 豪雪裏日本を襲う(一月)

⑦ 池田首相、太平洋四カ国訪問

⑧ 沖繩でみどり丸沈没

⑨ 東京国際スポーツ大会開催

⑩ 日米初のテレビ中継実験成功

一九六三年国外10大ニュース

① ケネディ米大統領暗殺

② 部分的核停条約の調印

③ 中ソ論争の表面化

④ 南ベトナムのクーデター

⑤ ドル防衛の強化

⑥ 女性宇宙飛行士の誕生

⑦ 英国のEEC加盟たな上げ

⑧ 韓国選挙で民政移管

⑨ マレーシア誕生

⑩ プロヒューモ事件

### 昭和三十九年(一九六四)

1.1 米ソ、平和メッセージを交換。太陽観測年の幕開く。

1.5 ローマ法王パウロ六世とギ

リチャ正教アテナゴラス総主教、五〇〇年ぶりで会談。

1.8 パナマ紛争起こる。

1.10 日銀、新窓口規制実施。

1.17 政府、公共料金の値上げ、本年度は行なわずと決定。

1.27 第三回日米貿易経済合同委員会開く(28日まで)。

フランス、中共を承認。

1.30 南ベトナム、右派グエン・カインのクーデター。

2.6 キューバ、グアタマラ米軍基地への給水停止。

2.10 米下院、公民権法可決。

2.11 国府、対仏断交。

2.12 政府、所得倍増計画の手法おしの中期五カ年計画の審議開始。

2.15 ソ連共産党中央委員会総会で大規模な化学工業振興七カ年計画を採択。

2.17 政府IMF八条国への移行を正式通告(3.11承認)。

2.22 米ソ新文化協定調印。

米、英、ソ三国間の初の国際宇宙通信(エコー通信)成功。

2.24 吉田・時會談。反共政策などで話し合う。

2.27 富士航空機、大分で墜落、死者二〇名。

3.1 原水協と社会党・総評による二つのビキニデー。

3.4 国連、キプロスへ国連平和維持軍の派遣を決議。

3.12 日韓交渉、約二年ぶりで本会談再開(4.4休会)。

3.18 公定歩合二厘引き上げ。

3.23 国連貿易開発会議、ジュネーブで開く(6月まで)。

3.24 ライツワール駐日米大使、精神異常の少年に刺さる。

3.28 米国アンカレッジに大地震。

4.1 日本、IMF八条国へ移行。

4.5 マッカーサー元帥死去。

4.16 公労協・私鉄労組の「四一七スト」中止決まる。

4.28 日本、OECD正式加盟。第一回生存者叙勲決まる。

5.15 部分的核実験停止条約、衆議院で承認(反対、共産党四票、(25日、参議院承認、成立)。

5.27 ネール・インド首相死去。

5.30 三無事件、破防法初適用で有罪判決。

6.3 韓国の学生デモ激化、ソウルに戒厳令公布(7.29解除)。

6.11 昭和電工川崎工場爆発、死者一五名。

6.12 ソ連・東独協力条約調印。

6.16 新潟、山形、秋田を中心に、マグニチュード七・七の大地震。

7.3 内閣憲法調査会、最終報告書を首相に提出。

7.7 米国の二世飛行家ヘンリー

大江、小型機で太平洋横断に成功。

7.10 池田首相、自民党大会で総裁に三選。

7.11 日本最大のラムダ三型ロケット、高度千キロに打ち上げ。

7.14 東京品川で化学品倉庫爆発、消防員一九人が殉職。

7.15 米共和党大統領候補に、ゴルドウオーター上院議員決まる

7.17 アフリカ首脳会議、カイロで開催(21日まで)。

7.18 池田改造内閣発足。

8.2 トンキン湾で米駆逐艦と北ベトナム魚雷艇が武力衝突、米軍機による基地攻撃行なわる。

8.7 南ベトナム、非常事態宣言。

8.8 トルコ空軍機、キプロス島ギリシャ系軍事拠点を攻撃。

8.16 南ベトナム大統領にグエン・カイン就任。反政府デモ激化で

8.27、辞任。9.3 首相に復帰。

8.21 東京オリンピック大会(10.10〜24)の聖火、ギリシャのオリシピア、ヘラ神殿前で点火。

8.28 政府、米原子力潜水艦の寄港受け入れを米側に通告。

日本共産党、志賀、鈴木尚氏の除名(6.21)につづき、中野、神山両中央委員の党員権の三カ月停止を決定。

9.7 IMF・世銀総会、東京で開会(9.11まで)。



- 9.13 南ベトナムでクーデター
- 9.14 反乱鎮圧。
- 9.15 フルシチョフ・ソ連首相強力な恐怖兵器を開発したと発言(9.17 発言訂正)。
- 9.18 米国防長官、トンキン湾上で発砲と発表。
- 9.27 ケネディ暗殺事件に関する「ウォーレン報告」公表。
- 9.29 臨時行政調査会、一六項目の答申を首相に提出。
- 10.1 東海道新幹線、営業開始。
- 10.5 第二回非同盟諸国会議、カイロで開会(10.10まで)。
- 10.10 オリンピック東京大会開幕(10.24まで)。九四カ国が参加、北朝鮮(10.9)、インドネシア(10.10)不参加、帰国。
- 10.12 ソ連、三人乗り衛星船ウオスホート1号を打ち上げ。
- 10.16 フルシチョフ・ソ連首相、辞任、首相にコスイギン、第一書記にブレジネフ就任。英国労働党、総選挙(10.15)に勝利、ウイルソン党首、首班指名。中国、西部地区での最初の核実験に成功と発表。
- 10.25 池田首相、辞意表明。
- 11.3 米大統領選挙、民主党のジョンソン大統領圧勝。

- 11.9 自民党、後継首相に佐藤栄作決定。佐藤内閣発足。
- 11.12 米原子力潜水艦シードラゴン号、佐世保に入港(11.14 出港)
- 全日本労働総同盟決成。
- 11.17 公明党結成。
- 11.24 ベルギー部隊、コンゴのスタンレーヒルに降下、反政府軍の人質を救出。
- 12.1 第一九回国連総会開幕(65.2.18 閉会)。
- 12.3 日韓会談(第七次)本会議開く。
- 12.16 ウイルソン英首相、大西洋核戦力(ANF)構想を発表。
- 12.17 日本銀行総裁に宇佐美洵就任。
- 12.31 インドネシア、国連脱退を口頭で通告(65.1.21 正式通告)。

三十九年国内10大ニュース

- ① 史上最大の東京オリンピック
- ② 池田入院と佐藤内閣誕生
- ③ 新潟地震
- ④ 東海道新幹線開通
- ⑤ ライシャワー刺傷事件
- ⑥ 物価値上がりと新型不況
- ⑦ 開放経済移行とIMF東京総会
- ⑧ 原潜寄港
- ⑨ 異常気象
- ⑩ 義宮結婚

昭和四十年(一九六五)

- 1.1 アラブ共同市場発足。
- 1.8 韓国、南ベトナム派兵を発表。
- 1.9 日銀、公定歩合を日歩一厘引き下げ。
- 1.10 ILO対日調査団来日。
- (1.23 見解表明)
- 1.11 中央教育審議会、「期待される人間像」の中間発表。
- 1.12 佐藤首相、ジョンソン米大統領と会談。
- 1.24 チャーチル英元首相死去。
- 1.27 南ベトナムでクーデター。グエン・カーン全権把握。
- 1.31 ラオスでクーデター。(2.3 反乱部隊鎮圧)。
- 2.2 米原子力潜水艦シードラゴン号、佐世保に再入港
- (2.5 出港)。
- 2.7 米空軍北ベトナム爆撃。
- 2.19 南ベトナムでクーデター。(2.20 反乱軍鎮圧 2.21 グエン・カーン退陣)。
- 2.20 日韓基本関係条約案、京城で仮調印。
- 米国の月ロケット、レインジャー号、月に命中、七千枚の写真撮影に成功。
- 2.22 北海道夕張で炭鉱爆発、六一名死亡。
- 3.1 世界共産党会議準備会議、モスクワで協議会として開会(3.5まで)。
- 3.8 米海兵隊、南ベトナムのダナンに上陸。
- 3.10 河上社会党委員長、辞意表明。
- 3.15 米空軍、北ベトナム一九度線以北を爆撃。
- 3.18 ソ連、ウオスホート2号の打上げに成功、搭乗のレオフ中佐は史上初めての宇宙遊泳に成功(3.19 帰着)
- 3.21 米国の月ロケット、レインジャー9号打ち上げる、3.24月に命中、月面写真の撮影に成功。
- 3.23 米国二人乗り衛星船ジエミニ・タイタン3号を打ち上げ、回収。